

平成25年 第1回定例会

否決

阿久比町道路線の認定及び
廃止に対する修正動議

提出者 杉野 明議員

認定道路線19路線のうち、2401号線を今回の認定路線から削る。

反対討論

竹内 一美議員

総務建設委員会で、充分審議が尽くされた。

町道2401号線の認定のみ削除し、それに伴う2263号線だけが廃止されることは不合理であり、地元的生活基盤がなくなり、不利益なこととなる。

賛成討論

辻 忠男議員

問題となっている道路は、明かに開発行為が行われているとの印象を得た。

控え目に見ても、1000㎡を超えており、阿久比町土地開発行為に関

する指導要綱から外れている。

反対討論

山本 和俊議員

この認定路線は、既設の行き止まり道路を通り抜けができる道路整備に向けた強い地区住民の要望である。

これ以上、疑惑の憶測で問題を大きくすることは、地区住民の願いを無視することになる。

賛成討論

澤田 道孝議員

今回の道路築造が、建築を目的として、この道路を利用し、一連の宅地の中で建物が建てられ、都市計画法29条の違反となるのではないか。今後の都市計画法の運営ということについて、莫大な疑惑を持ちかけるものだと思う。

可決

阿久比町道路線の認定及び廃止

反対討論

杉野 明議員

問題の道路を現地確認したが、町の答弁と現況は著しく異なり、到底認定できない。一点の疑念もないように、正規の手続きをされることを望む。立ち場の違いで法解釈が異なり、現段階で判断するには拙速すぎる。

賛成討論

渡辺 和幸議員

問題の2401号線は道路築造のための土砂搬出である。

町は現地確認をし、愛知県も確認をされ、最終的に町は開発行為に当たらないと判断した。

公有財産審査会でも了承され、寄附採納願も出されており、適切と判断する。

反対討論

辻 忠男議員

明かに阿久比町土地開発行為に関する指導要綱から外れている。

すでに上水・下水のマンホールを含めた設備が完成している。

今からでも開発行為の手続きを事業者に求めることが必要。

賛成討論

沢田 栄治議員

町道は、日常生活の安全性、利便性の向上、または快適な生活環境の確保を図るために、道路の新設や修繕が行われるものである。

今回の議案は、地域住民の利便性の向上に叶ったものであり、道路線の認定及び廃止は適切であると判断する。

反対討論

澤田 道孝議員

この道路が、建物を建てる目的であったということは明らか。なぜ、道路築造だけに目を当てたのか、私は非常に疑問が残るところだ。

都市計画法29条のすり抜けに加担した本町の姿勢は、非常にあるまじき行為である。

賛成討論

鈴木 一夫議員

今回はあくまで道路の築造であり、都市計画法第29条の適用は受けられないとの説明があった。

築造工事であるなら、申請時に本町の道路構造令の基準に基づいた指導が必要であったが、長年の地域住民の方々の要望を鑑みて賛成とする。